

議会だより

No.68

2025年2月発行



雪に耐えて梅花麗し

1週間前に大雪が降り、雪化粧をした梅の木。
寒さに負けず、春の訪れを知らせてくれました。
厳しい冬の寒さの終わりを知らせる、嬉しい便り。

中組地区にて撮影

写真提供：青柳泰葉さん（中組地区在住）

#こすげジェニックより、春の訪れを感じさせる1枚。
満開の梅の花が今から楽しみです。

TOPIC

- 12月定例会
- 一般質問
- 活動報告
- 子どもは村の宝



発行：小菅村議会

編集：小菅村議会広報編集常任委員会
山梨県北都留郡小菅村4698番地

☎ 0428-87-0111

こんなことが決まりました

12月定例会

- 令和6年12月13日(金)から12月18日(水)までの6日間の会期で開催されました
- 村長提出議案・・・15件
- 議会提出議案・・・1件

専決処分

一般会計補正予算を承認しました

- 一般会計補正予算（第3号）

223万円の増額

合計額 17億9,246万円

【主な内容】

衆議院議員選挙が10月15日に告示、10月27日に執行され、必要経費を早急に補正する必要がありました。議会を招集する時間的余裕がないため専決処分を行い、直近の議会に上程しました。

補正予算

(万円未満四捨五入)

一般会計予算、特別会計予算を可決しました

- 一般会計（第4号）

補正予算額3,021万円の増額

総額18億2,267万円

- 国民健康保険特別会計（第1号）

補正予算額215万円の増額

総額1億2,967万円

- 国民健康保険診療事業特別会計（第3号）

補正予算額34万円の増額

総額6,397万円

- 介護保険特別会計（第2号）

補正予算額162万円の増額

総額1億8,240万円

- 簡易水道事業会計（第2号）

建設改良費（水道管敷設）として400万円計上しました。

- 下水道事業会計（第2号）

建設改良費（下水道管敷設）として285万円計上しました。

条例制定

- 小菅村議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定

地方自治法の規定により、議員個人と村との請負が認められていませんでしたが、法改正により300万円までは議員個人と村との請負が規制の対象から除かれることとなりました。議員個人による請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務執行の適正を図ることを目的に条例を制定しました。

条例改正

- 小菅村職員給与条例の一部を改正する条例
- 小菅村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員及び会計年度任用職員の給料表が引き上げとなり、期末勤勉手当が0.1月分引き上げとなりました。

規約変更・財産処分

- 山梨県市町村総合事務組合規約の変更
- 山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分

交通災害共済が令和7度をもって終了となることに伴う規約の変更を行いました。また交通災害共済基金の処分に関する協議を承認しました。

01 第15回全国源流サミットin長野県 木祖村への参加報告

全国源流サミットが10月3日・4日に長野県木祖村で盛大に開催されました。木祖村は人口約2,500人で、年間約40人減少しているとのことでした。本村議会は4日の午後から参加しました。

「先進地事例発表」では3名の方の提案発表があり、共通意識の中で上流域と下流域で連携をとり、源流域と水を守ることが日本を守ることにつながるとの意見に共感しました。

また、一般社団法人名古屋環未来研究所の山田氏の言葉の中に「水の源流を人の源流と捉えたらどうか」との意見があり、とても大事なことだと思いました。

本村においても、今まで以上に下流域との交流や連携をとっていくことが大切だと思います。水を守るために、源流税などの考え方もあると思います。今後も源流域を守っていくことの重要性を再確認しました。

議会運営委員長 木下善満



02 伊那市春富水力発電所への視察報告

本村議会では、村内に小水力発電設備が設置できないか検討を行っており、今回長野県伊那市春富地区に設置されている、春富水力発電所の視察研修に行ってきました。

この水力発電所は平成29年に完成し、使用水量1.12m³、有効落差21.9m、発電出力197kw、事業費4億1,600万円、発電期間4月1日～9月15日、年間発電電力量652,000kwh、水車形式は横軸フランシス水車となっています。発電した電

気は売電し、売電益は伊那市春富地区土地改良区が管理する農業水利施設等の維持管理のほか、農業水利施設及び小水力発電施設保全・改修のための積立へ活用しているとのことでした。

小水力発電には水量と落差が必要とのこと、この2項目の可能な場所の調査が必要と思われます。今後も引き続き実現に向けて調査・検討し取り組んでいきたいと感じました。

総務・教育常任委員長 細川春雄



一般質問

12月定例会では2名が村政について質問を行いました

一般質問とは、議員から村への質問・提言です。
掲載内容は、要点をまとめて主な質問項目を掲載しています。



細川 春雄

2025年問題

問 小菅村の介護保険料基準額が、山梨県で最高額となっている要因は？

住民課長 介護保険サービスの利用量に対し、保険料を負担する第1号被保険者が少ないため、被保険者1人当たりの負担額が大きくなっている。

また、本村では在宅での介護可能な介護保険サービスが少なく、要介護認定を受けた段階で単価の高い特別養護老人ホームに入所する傾向にある。この状況と傾向は以前より続いており、第7期介護保険事業計画から、第8期介護保険事業計画に移行する際の試算では、現行となる第9期計画策定時にさらなる基準額の増額が見込まれていた。今回、第8期と同額で保険料基準額を据え置くことができたのは、当時試算されていた上昇率をある程度抑制できたものと考えらる。

問 国保連合会の統計で、小菅村は1件当たりの医療費・1人当たりの医療費がともに県下で2番目に高い。要因と国保の医療費を抑える手では？

住民課長 被保険者数が少ない本村にとって、がんや透析、脳梗塞などの高額な医療を必要とする病気が発生することによって、1人当たりの医療費の高騰に直結する。村の対策として、総合健診や人間ドック等各種健診に対する受診を推奨している。大きな病気は早期発見することによって、医療費の抑制につながり、命を守ることや、後遺症を回避することにもつながるため、本年度より人間ドックの対象年齢を75歳までに引き上げた。

旧かどや旅館改装とビール工場建設

問 旧かどや旅館の改築の進捗状況は？

村長 全3回のワークショップを行った。運営は村内で実績を有する株式会社EDGEが行うということが決まっている。12月中には詳細設計の入札を行いたい。建設工事については、補助金等の活用を進めたい。事業が認められたら早急に着手し、令和7年度末までの完成を目指したい。



問 近隣旅館や施設との関係は？

村長 近隣の旅館施設については、ワークショップにおいても、しっかりとした情報共有、意思疎通が非常に大切であるという意見が出されており、大変重要なことだと認識している。令和5年度中に計画に対して説明させていただく機会を設けた。今後は詳細が決まったら、運用も含めてご意見を伺いながら、村としてどういう考えがあるということの説明に上がりたい。

問 Far Yeast Brewing株式会社のビール工場建設の進捗状況は？

村長 当初計画された製造体制の向上に向けた工場整備から、クラフトビールを切り口とした地域密着型の創造する施設に変更と伺っている。

整備については、2期に分けた工事を実施したいと考えている。第1期については、レストラン施設を整備する予定。総務省の交付金の採択を受け、令和7年8月を目途に完成、来年の11月から営業という形を考えている。2期工事は、ビール造りの体験ができるラボ棟を建設予定。農林水産省の補助金を活用できるよう国と協議をしている。



岡部 一美

農政振興施策

問 村の農業振興施策は？

村長 農業というのは本当になくってはならない大切なことだと思っているので、農業者との意見交換をしなければならないと考えている。道の駅こすげも農業者の多くに出品していただいており、今後も出品してもらえよう形をどうつくるかということ、株式会社源と村の担当で考えていくこととした。また、作っても売れない状況では困るため、「契約の作付」というのも考えていきたい。

そのほか雑穀の奨励金事業を行っているが、作っている方々が高齢化しており作付面積が少なくなっている状況。もう少し作っていただけるようなシステム作りを考えていきたい。以前「こまめ」という耕運機を村で買った時に、爆発的に村の農業が変わったということもあるので、新しい機械を導入して機械化を図っていくということも大切ではないかと思っている。

問 村で作っている「畑の素」について、村民価格等の支援の考えは？

村長 人口減少・高齢化等で、生ごみ自体が少なくなっており、施設も老朽化しているのが現状。畑の素は土壌改良材ということで、以前安

価で売ったところ、すぐになくなってしまい、村民の皆さんに届かないということもあった。適正価格で外へ売れるものと、村内で消費してもらうものという区別を考えていきたい。



問 肥料等が非常に高いが、支援の考えは？

村長 農業者は色々なところから肥料を購入しているので、どのように支援するのが良いのかなど、考えていきたい。

光ケーブルの活用

問 村では総務省の補助事業を活用して、各家庭まで光ファイバー網が整備されて、現在はCATVとして活用されているが、それ以外の活用の考えは？

総務課長 令和3年にCATVを有効に活用できないか調査した結果、既存の光ケーブル2本を利用してテレビ視聴等を行っているが、設備的には2本を追加し4本のケーブルを通すことが可能であるということが分かった。追加2本を使いインターネット回線として利用も不可能ではないが、当時の補助金の交付条件として2本のみを使用するという条件で許可をいただいているため、これ以上ケーブルを追加することは不可能だということで結論づけている。

また現在は、テレビと文字放送のみのサービスを提供している状況で、文字放送の枠に動画を放送することはできないかという点も検討したが、業者から「物理的に不可能」という回答をいただいている。



道の駅こすげ 物産館の農産物



▲ 2020年の写真。現在、小菅村産の雑穀はえごまのみ。



▲ 2024年4月の野菜売り場のようす。生産者の高齢化が進んでいる。



▲ 2025年1月の漬けもの売り場のようす。2024年6月に法改正が行われたことで、村内生産者が減っている。

活動報告



▲ 10.19 JTの森づくり活動に参加しました



▲ 10.24 全国過疎問題シンポジウム2024やまなしに出席し、全国から参加された方や、講師の方々と交流を図りました



▲ 11.9 小学校のすげのこまつりに出席しました



▲ 11.28 出納検査時、指定管理施設（寺子屋自然塾）の現地視察をおこないました

狛江市議会との交流報告

3月1日に議会初の試みとして、住民交流友好都市狛江市の市議会議員と、小菅村議会議員との交流会が狛江市で行われました。11月1日(金)には小菅村において、狛江市議会議員(24名)をお招きして第2回交流会を開催しました。

当日は、午後1時30分から役場2階会議室において小菅村の紹介と、本村で活動している株式会社NEXT DELIVERYの担当者からドローン事業の詳細な説明がなされました。その後、橋立でドローンの実演を見学し、池之尻のFar Yeast Brewing株式会社でビール製造の説明を受け、狛江市議会議員からは多くの質問がなされました。午後5時過ぎからは懇親会が開催され、議員一人ひ

とりが狛江市議会議員さん方と情報交換を行い、有意義な交流会になったことと思います。

今後は、双方で定期的に交流するとともに、住民や児童・生徒などとも交流できるようになれば良いと感じました。

議長 青柳諭



子どもは村の宝

ともひさ あきこ
関口 智久さん・章子さん

いぶきちゃん(年中)

保育園児のいる家庭にスポットを当て、お話を伺いました。

- Q** 小菅村に来たきっかけを教えてください。
- A** 両親とも地域おこし協力隊として小菅村に来ました。
- Q** つき組のいぶきちゃんの好きなことは何ですか？
- A** 工作すること、YouTubeを見ること。サンタさんからプレゼントをもらうことも楽しみです。
- Q** 子育て支援で村や議会に要望はありますか？
- A** 子どもの一時預かり環境を整備してほしいです。小菅村に親せきがない移住者にとっては、保育所に通えるまでの期間が長い（現在は1年早く入れるようになったのでありがたいです）ので、月1回でも、週1回でも有償でも良いので、預かってくれる環境について検討をお願いしたいです。とはいえ、普段の子育て世帯への支援は手厚いと感じることも多く、感謝しています。最近、移住者の方から新しい村の楽しみ方、価値観を習うことも多いです。地元の方も移住した方もアイデアを出し合って、行政に頼るだけでなく、自分たちでもより住みやすくなるように工夫していきたいです。



小菅村で出会ったお二人が結婚・出産され、その後も村で子育てをされているお話をお聞きすることができ、大変うれしく思いました。要望にお応えできるよう、議会でも提案してまいります。関口さん、ありがとうございました。

令和7年度予算要望提出

小菅村議会では、令和7年度の小菅村当初予算への要望事項の協議を行い、計62項目をとりまとめ、1月6日(月)細川総務教育常任委員長、中川厚生経済常任委員長より、船木村長へ要望書を提出しました。船木村長から「厳しい財政状況ではあるが、議会からの要望になるべく応えるべく、今後調整を図っていきたい」と回答をいただきました。



議会のあゆみ

令和6年9月～令和6年11月

9月

- 6日 9月議会運営委員会 議会運営委員3名、正副議長出席
- 11-13日 9月議会定例会開会 全議員出席
- 13日 第67号議会だより編集会議 広報編集委員3名出席
- 14日 第40回小菅小・中学校合同体育祭 全議員出席
- 14日 小菅中学校第57回明媚祭 全議員出席
- 16日 小菅村敬老会 全議員出席
- 17日 村内ボランティア活動 全議員参加
- 25日 議会広報委員会全国研修会 中川議員出席
- 26日 小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会 副議長出席

10月

- 4日-5日 第15回全国源流サミット 全議員参加
- 8日 町村議会議員研修会 議員6名出席
- 8日-10日 小金沢土室山恩賜県有財産保護組合研修会 副議長出席
- 17日 富士・東部広域環境事務組合議会議員先進地視察研修 議長出席
- 19日 JTの森づくり活動 議員6名参加
- 22-23日 町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会 青柳監査委員出席
- 24日 全国過疎問題シンポジウム2024inやまなし 全議員出席

- 25日 全国過疎問題シンポジウム2024inやまなし分科会 正副議長出席
- 25日 源流まつり実行委員会 細川議員出席
- 30日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会 中川議員出席
- 30日 教育事務所より請願書受領 副議長対応

11月

- 1日 狛江市議会による小菅村視察 全議員出席
- 5日 奥さがみ・郡内連携事業勉強会 議長出席
- 9日 小菅小学校すげのこまつり 全議員出席
- 13日 第68回町村議会議長全国大会 議長出席
- 15日 第2回町村議会広報編集委員長会議 木下委員長出席
- 17日 狛江市民まつり 議長出席
- 18日 令和7年度予算編成に対する要望書協議 全議員出席
- 22日 第60回山梨県へき地教育振興大会・研究会 議長出席
- 26日 第3回町村議会議長会議 議長出席
- 27日 第34回多摩源流まつり部会会議 細川議員出席
- 28日 第3回例月出納検査 青柳監査委員出席
- 29日 学校法人茂来学園大日向小学校視察 細川総務委員長・青柳議員出席

議会だよりを読んで

むとう まよ
武藤 真世 さん（小菅小学校教頭）

議会だよりを読んで、小菅村議会が学校、そして私たちの生活を支えてくださっていることを実感しました。満18歳以上への選挙権年齢の引き下げにより、小中学校からの主権者教育の充実が求められています。教育に携わる者として、将来の担い手を育てていけるように、日々精進していきます。

編集後記

本年も議会活動の一環として、昨年末に議員全員で議論を重ね、1月6日に村への提言、予算要望書を両委員長より船木村長に提出しました。今後も議会を身近に感じていただけるような広報誌発行を目指して、手に取って見ていただけることをモットーに取り組んで参ります。
(議会広報編集委員長 木下大吉)

議会広報編集 常任委員会

委員長：木下 大吉
委員：中川 勇
委員：岡部 一美